



令和4年3月29日  
 住宅都市局都市計画部交通計画課

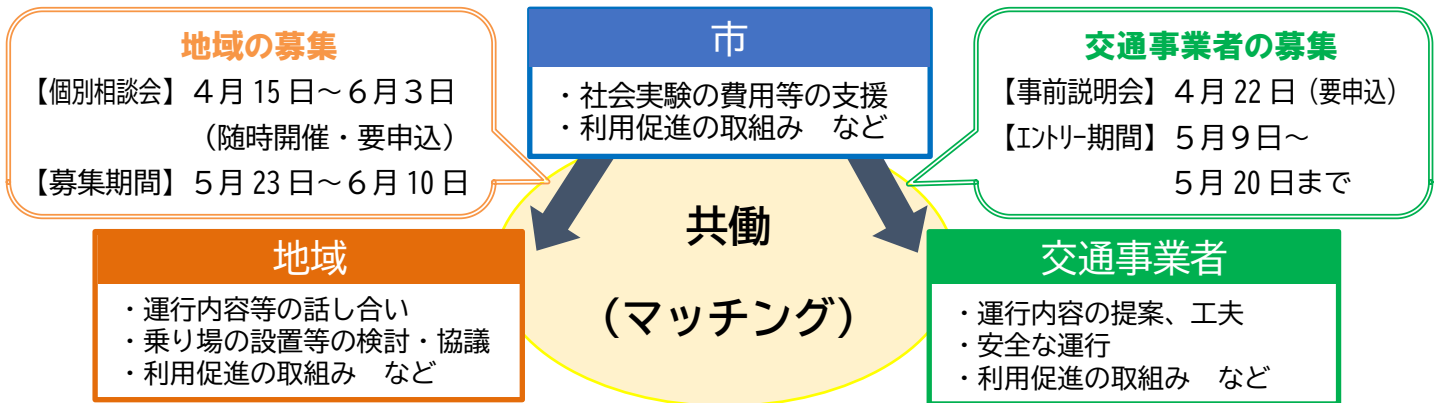
福岡市政担当記者各位

**「オンデマンド交通」の社会実験を実施します！**  
 ～市と共働で取り組む地域と交通事業者を募集～

福岡市では、高齢化の進展等に伴い、公共交通が不便な地域における、買い物や通院などの生活交通確保が課題となっており、持続可能な仕組みづくりに取り組む必要があると考えています。この度、取組みの一つとして、予約に応じて効率的に運行する「オンデマンド交通」を活用し、複数校区等での広域運行や、曜日別に複数校区を運行するなど、運行内容の工夫に取り組む社会実験を実施します。

持続可能としていくためには、市、地域や交通事業者が一体となった取組みが重要であり、社会実験に主体的に取り組まれる地域、交通事業者を募集します。

令和4年夏頃、地域・交通事業者を決定し、運行に向けた取組みを開始する予定です。



<オンデマンド交通について>



(参考)オンデマンド交通利用の流れ

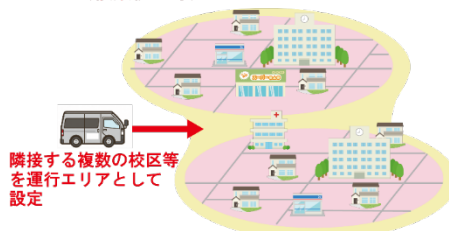
- 予約 (乗りたい時間・場所などを伝える)  
※スマートフォンや電話
- 指定された時間・乗り場で待つ
- 車両がきたら乗る
- 運賃を支払う

<運行イメージ>

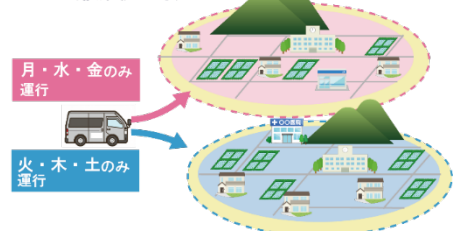
- 運行エリア：3エリア程度 (1エリア5km<sup>2</sup>程度を想定)
- 運行期間：1年予定

※乗り場や運行時間等の詳細は、市・地域・交通事業者の三者で協議し決定

例1：柔軟なエリア設定 (複数校区等)



例2：曜日別運行 (複数校区等)



※2又は3地区で曜日を組み合わせる運行

【問い合わせ先】

住宅都市局都市計画部交通計画課 担当：田中  
 電話：092-711-4391 (内線 2830)

## <参考:地域及び交通事業者の募集等の詳細について>

### 1. 地域の募集

【募集対象】下記の①～④の応募条件を満たす自治協議会（※1）

（※1）広域運行となるため、複数校区（2～3校区程度）共同で応募ください。

単一校区での応募も可ですが、選定された場合は、市でマッチングする他校区と一体となった取組みを行っていただくことになります。

①公共交通が不便な地域（※2）を含む地域であること

（※2）公共交通が不便な地域 〔該当可否は市に相談ください〕

- ・バス停から概ね500m以上、駅から1km離れた地域
- ・バス停・駅との高低差が概ね40m以上の地域
- ・バス停・駅までの経路について、迂回を要する、坂道がきつい等、公共交通が不便と考えられる地域

②面的に一定の需要が広がり、複数校区等で広域、曜日別運行などに取り組む地域であること

③生活交通の必要性を認識し、その確保に向け、他校区と連携して主体的な取組みができること（※3）

（※3）地域の主な役割として、交通事業者や市と協力し取り組んでいただくこと

- ・運行内容等を話し合う場の立ち上げ・運営
- ・乗り場の設置などの検討・協議（アンケートなど）
- ・地域企業等からの協賛に関する協議
- ・地域住民への周知、利用促進の取組み

④個別相談会に参加していること

【個別相談会】4月15日（金）～6月3日（金）〔5月31日（火）まで要申込〕

○相談会に申込みされた地域には、日程調整のうえ、公民館などにお伺いします。

○社会実験への応募には、相談会の参加が必須となります。

【募集期間】5月23日（月）～6月10日（金）予定

### 2. 交通事業者の募集（提案競技（プロポーザル）方式）

【主な募集対象】

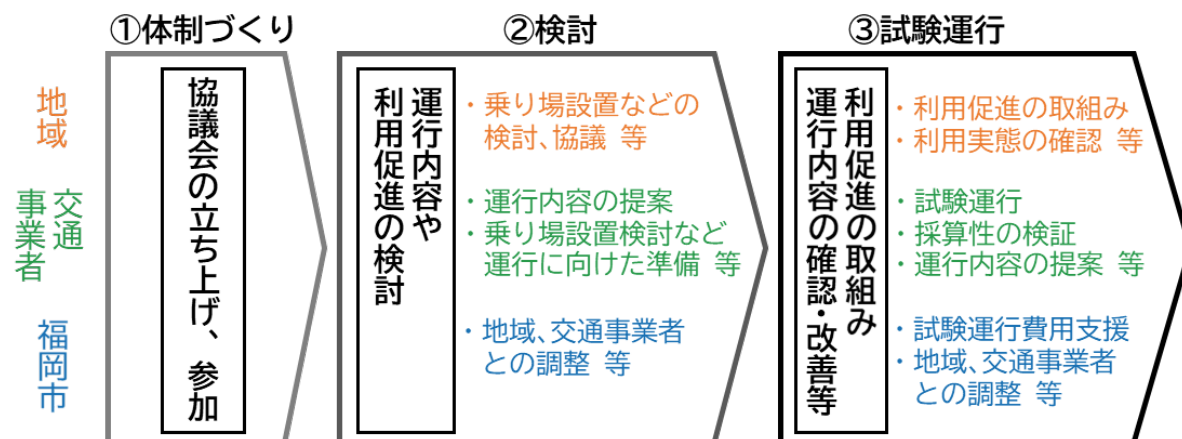
AI オンデマンド交通システム（※4）を用いた運行が可能な一般旅客自動車運送事業者  
又は事業者グループ

（※4）AI（人工知能）を活用した効率的な配車により、利用者予約に対し、リアルタイムに最適配車を行うシステム

【説明会】4月22日（金）予定 オンライン開催〔4月20日（水）まで要申込〕

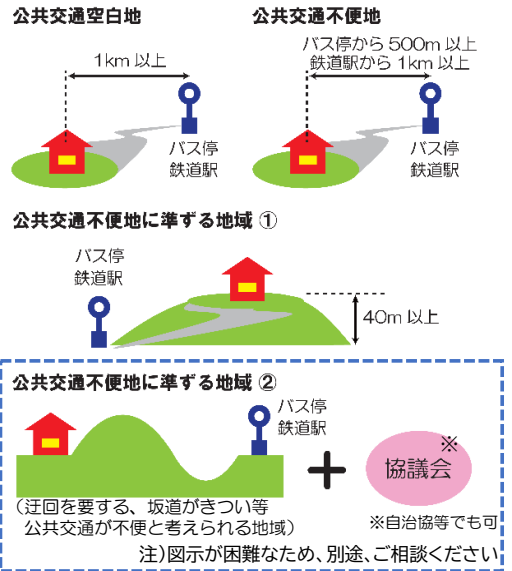
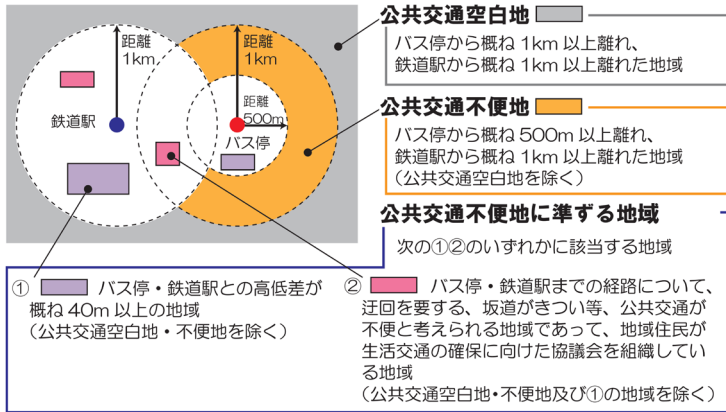
【エントリー期間】5月9日（月）～5月20日（金）予定

## <参考:社会実験の流れ>



※募集等の詳細については、順次、市ホームページ（「福岡市 オンデマンド交通社会実験」で検索）に掲載します。

## <参考:公共交通不便地等について>



## 公共交通不便地等の分布図

